



管内の百名山「雲取山」



雲取山(標高 2,017m)は、奥秩父山塊の東端にあり、東京都・埼玉県・山梨県の1都2県にまたがった山で、秩父多摩甲斐国立公園のほぼ中央に位置しています。

天望の良い山頂からは、南西には富士山、西には南アルプスの峰々を遠望することができ、シラベ、カンバ類等の原生林とニホンジカ、ツキノワグマ等の野生動物が生息するなど豊かな森林が広がっています。



埼玉県側は、国有林として管理され荒川支流の源流部として、東京都と山梨県側は、東京都の水源林として管理され多摩川水域として首都圏等の水源として重要な役割を果たしています。

雲取山は、東京都の最高峰として唯一の日本百名山に選ばれており、大洞山、笠取山、甲武信ヶ岳と続く奥秩父連峰の東の入り口となっています。登山ルートは、秩父側からは三峯神社を起点に、白岩山を経て雲取山に至るコース、山梨県側からは丹波山村三条の湯から三条ダルミを経る

コース、東京都側からは奥多摩町鴨沢から七ツ石山を経るコースと様々なコースがあります。山頂近くには山小屋もあり各コースとも1泊2日の行程が主流で、首都圏に近いというアクセスの良さもあり多くの登山者が訪れています。(写真:三峯神社から望む雲取山)

埼玉森林管理事務所では、野生動植物の移動経路を確保し生息・生育地の拡大と相互交流を促すため、既存の保護林を中核に雲取山を含む国有林を「秩父山地緑の回廊」に設定し、より広範で効果的な森林生態系の保護に努めています。

(埼玉森林管理事務所 調整官)

雲取山から富士山を望む



雲取山の山頂から

